

令和4年度 60回生 授業概要(シラバス)

科目名	地域と暮らしⅠ	分野/教育内容	専門分野/地域・在宅看護論
開講年次・時期	1 年前期～中期 2022 年 7 月 27 日	単位数/時間	1 単位/15 時間
担当講師名	畠山 千章	所属・役職	専任教員
		資格・免許	看護師
授業の概要	人々が暮らす地域の特徴を理解し、環境が生活や健康に及ぼす影響を考える		
到達目標	1．看護の対象が暮らす地域の特性を知り、人々の生活の多様性を理解する 2．人々が生活する環境が健康に影響を及ぼすことを理解できる 3．地域理解の重要性を考えることができる		
事前学習内容	教科書 P16～P20 を読んできてください		
成績評価の方法	1．終講試験による評価 2．課題レポートの提出状況（提出期限の遅れや内容が不十分だった場合は終講試験の結果から減点） 3．出席状況（学則に準ずる）		
使用教科書	ナーシンググラフィカ 地域在宅看護論①「地域療養を支えるケア」（メディカ出版、第7版第1刷、2022. ）		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	暮らしと健康の関係		講義
第2回	地域アセスメント		
第3回	地域踏査（方法の理解、宮古市内の理解①）		講義・演習（グループワーク）
第4・5回	地域踏査（宮古市内の理解②）		演習（フィールドワーク）
第6回	地域踏査（学びの共有）		演習（発表）
第7回	地域で生活する人々を支える地域包括ケアシステム		講義
履修上の留意点	・ 自己の考えを積極的に表現し、活発な意見交換を行うこと。 ・ 地域踏査は宮古市内の移動が伴うため、感染対策および交通安全に十分留意すること。 ・ 地域住民に接する機会がある。看護学生としてマナーを守って行動すること。		

科目名	地域と暮らしⅡ		分野/教育内容	専門分野/地域・在宅看護論
開講年次 時期	2年前期 2023年4月11日		単位数/時間	1単位/30時間
講師名 所属・役職 資格・免許	佐々木 宏嘉	株式会社ケアテック宮古営業所 所長		福祉用具専門相談員
	佐藤 公宣	株式会社ケアテック宮古営業所		福祉用具専門相談員
	永洞 加奈江	宮古市介護保険課 地域包括支援センター所長		保健師
	土井 直美	宮古市介護保険課 地域包括支援センター主任保健師		保健師
	伊藤 直子	宮古市社会福祉協議会 在宅福祉課長		
	ガルシア小織	訪問看護ステーションメディケア 管理者		居宅介護支援専門員 看護師
	畠山 千章	宮古高等看護学院 専任教員		看護師
授業の 概要	地域・在宅看護の概念や地域包括ケアシステムにおける看護師の役割、地域療養を支える社会資源を学ぶ			
到達目標	1. 地域で看護の力が必要とされる社会背景と看護の対象の特徴を説明できる 2. 地域住民の健康に関わる関係職種や関係機関の役割を理解し、連携協働の重要性を説明できる 3. 地域での生活を維持するための社会資源について説明できる 4. 訪問看護サービスの特徴と訪問看護師の役割を説明できる			
事前学習 内容	授業に関連する教科書の範囲を熟読する 授業内容に応じて課題を課す			
成績評価 の方法	1. 終講試験 1回（100点満点） 2. 課題レポートの提出状況 （提出期限の遅れや内容が不十分だった場合は終講試験の結果から減点） 3. 出席状況（学則に準ずる）			
使用 教科書	ナーシンググラフィカ 地域在宅看護論①「地域療養を支えるケア」 （メディカ出版、第7版第1刷、2022.）			
回数	授業概要(主な学習内容)			講師
1	地域・在宅看護が求められる背景（P. 21～			畠山
2	看護の対象の特徴①（P. 56～			
3	看護の対象の特徴②（P. 63～			
4	療養の場の移行に伴う看護（P. 103～			
5	社会資源の活用① 医療保険制度、（P. 142～			
6	社会資源の活用② 介護保険制度、障害者福祉（P. 149～、P. 167～			
7	訪問看護の特徴① 訪問看護制度、訪問看護ステーションの特徴 （P. 198～、P. 205～			
8	地域在宅看護における倫理（P. 47～、P. 183～			
1	社会資源の活用③ 介護用品・在宅医療機器取扱事業所の役割と機能			佐々木先生 佐藤先生
1	地域包括ケアシステム（P. 94～			永洞先生 土井先生
2	地域包括支援センターの役割と機能（P. 101～、P. 134～			
1	社会福祉協議会の役割と機能			伊藤先生
1	訪問看護の特徴② 訪問看護サービスの展開（P. 212～			ガルシア先生
2	在宅看護におけるケアマネジメント（P. 121～			
3	地域療養を支える看護の役割			
履修上の 留意点	・グループワークの際は、アサーティブコミュニケーションを意識し、グループとしての考えが深まるよう意欲的に臨むこと。 ・統計や法律・制度については、関連書籍を活用し最新の情報を得よう注意すること。 ・本授業および今後の地域・在宅看護論の授業資料、自己学習内容は、3年次の実習に活用できるようファイリングしておくこと。 ・積極的に自分の考えを表現すること。			

第1回	地域・在宅看護が求められる背景 社会的背景の特徴	畠山
第2回	看護の対象の特徴① (P. 56～ 療養者の特徴 健康レベル、	畠山
第3回	看護の対象の特徴② (P. 63～ 家族の特徴	畠山
第4回	療養の場の移行に伴う看護 (P. 103～121) 継続看護、退院支援、退院調整、多機関・多職種連携	畠山
第5回	社会資源の活用① 医療保険制度他、 (P. 142～149、162～ 社会資源とは 医療保険制度の仕組み、後期高齢者医療制度 生活保護制度、 難病法 障害者福祉	畠山
第6回	社会資源の活用② 介護保険制度、障害者福祉 (P. 149～162、P. 167～ 障害者総合支援法 介護保険制度	畠山
第7回	社会資源の活用③ 介護用品・在宅医療機器取扱事業所の役割と機能地	(ケアテック)
第8回	域包括ケアシステム (P. 94～	(地域包括)
第9回	地域包括支援センターの役割と機能 (P. 101～103、P. 134～139) 基本的な施設の役割と機能、宮古市の活動の具体 (事例検討)	(地域包括)
第10回	社会福祉協議会の役割と機能 基本的な施設の役割と機能、宮古市の活動の具体 (事例検討)	(社協)
第11回	訪問看護の特徴① 訪問看護制度、訪問看護ステーションの特徴 (P. 198～、P. 205～	
第12回	訪問看護の特徴② 訪問看護サービスの展開 (P. 212～	
題13回	在宅看護におけるケアマネジメント (P. 121～133)	
題14回	地域療養を支える看護の役割 (P. 41～含む) 訪問事例、連携・協働、求められる能力、	
題15回	地域在宅看護における倫理 (P. 47～、P183～ 倫理とは、在宅看護特有の倫理問題	畠山